

TMU Research Activities 2025-2026

産業界や東京都・公的機関と連携して社会へ還元、
優れた研究者の成果と英知が未来を拓きます。

もっと詳しく知る www.tmu.ac.jp/research.html

研究推進体制

研究



総合研究推進機構

企画立案

管理推進

研究戦略企画室

研究推進課

研究大学としての研究力強化とプレゼンス向上を目指し、研究推進に取り組みます。

産学公連携の推進

関係機関との情報交流

試験研究機関や他大学等との連携や企業が求めるニーズ情報の収集により、活発な情報交流を進めるとともに、新しい提案を行っています。



技術相談

企業が直面する技術的課題等について、大学の資源や研究成果を活用して、きめ細かく対応しています。また、相談内容に応じて、大学教員や関係機関などと連携し、地域産業の振興に取り組んでいます。

知的財産の活用

研究成果を広く社会に還元するため、知的財産の創出、取得、管理、活用というサイクルを効率的に運営するための活動を行っています。



共同研究等の推進

産業の振興を図り、企業の技術、製品開発におけるブレイクスルーのため企業などとの共同研究、受託研究、寄附金及び学術相談等を積極的に推進しています。

技術革新が急速に進展している現在、中小企業等が社会の変化に円滑に対応できるよう、各種講演会やシンポジウム、展示会、イベントなどを通じ、さまざまな情報を発信しています。

東京都立大学 研究センター、リサーチコア

本学の研究は、人文・社会・自然科学の各分野で高い水準にあり、それぞれの専門領域で優れた実績を挙げています。中でも卓越した研究実績があり、世界的研究拠点化につながる可能性のあるグループや、本学の使命に合致した特色ある研究領域を持つグループを研究センター、リサーチコアとして指定し、その活動を支援しています。

研究センター

宇宙理学研究センター／生命情報研究センター／水道システム研究センター／子ども・若者貧困研究センター／ソーシャルビッグデータ研究センター／金融工学研究センター／水素エネルギー社会構築推進研究センター／医工連携研究センター／量子物質理工学研究センター／エネルギーインテグリティシステム研究センター／島嶼火山・都市災害研究センター／コミュニティ・セントリック・システム研究センター

リサーチコア

言語の脳遺伝学リサーチコア／サービスロボットインキュベーションハブリサーチコア（略称：serBOTinQ）／メタ・ヘルスケアリサーチコア

ローカル5G環境を活用したプロジェクト



東京都が策定した「『未来の東京』戦略」の取組の一環として、国内最大級のローカル5G通信環境をキャンパス内に整備し、最先端研究や実証実験に取り組んでいます。これにより、Society5.0実現の基幹インフラとなる5Gをはじめとする高速・大容量の移動通信に関する課題解決や、社会実装を通じて都民生活の向上を目指します。

民間企業等の社会実装促進(フィールド提供)

大学内に整備された国内最大級のローカル5G環境を活用した製品・サービスの実証を行うことができ、製品・サービスの開発及び品質向上の機会を得ることができます。

ローカル5G環境の利用希望は随時受け付けています。

www.tmu.ac.jp/research/project-5g.html

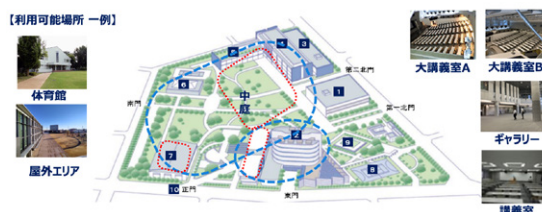
問合せ：local5g-section@jmj.tmu.ac.jp

28GHz帯及び4.7GHz帯(下記参照)それぞれの電波特性を組み合わせ、南大沢・日野キャンパスの広範囲を効率的にカバーしています。

南大沢キャンパスにおける電波カバーエリア (イメージ)



日野キャンパスにおける電波カバーエリア (イメージ)



私の研究最前線

理学療法士の力でパラスポーツを支えていく



私の研究最前線

シリーズVol.7

健康福祉学部 理学療法学科

信太 奈美 准教授

公式WEBマガジン『メトロノフ』では、新たな研究成果や研究の魅力、醍醐味を研究者に語ってもらうシリーズ企画「私の研究最前線」の記事を公開しています。健康福祉学部信太奈美准教授は、車いすバスケットボールや車いすラグビーといったパラスポーツ関連の研究や、脊髄損傷に関連する研究などを進めています。

研究テーマである車いすを利用したスポーツ関連では、車いすのスポーツ特性を研究しています。車いすバスケットボール、車いすラグビー共に接触が激しいスポーツですが、例えば車いすラグビーではタックルの際に、車いすへの衝撃が加わるため頸部に与える影響を計測し研究しています。

スポーツの世界では、けがを防ぎ、長くスポーツを楽しむための効率的なトレーニング方法を見つけることが重要ですが、車いすのスポーツ分野では十分な研究が進められていないのです。競技生活中だけでなくそのあとの日常生活を健康的に生活していくため、スポーツ科学に基づいた研究を進めると共に、車いすスポーツに特化したトレーニングや必要なコンディショニングを見い出したいと考えています。



タックルでの衝撃の大きさや頸部への影響を研究

記事を読む

